

介護支援専門員再研修・ 更新研修(実務未経験者) 9日目

第16章 アセスメント及び居宅サービス 計画等作成の総合演習

1

P391

本科目の目的と修得目標

(目的)

無断転載・複写を禁ずる

研修全体での学びを踏まえ、アセスメントから居宅サービス計画等の作成からモニタリングまでを一貫して行いケアマネジメントプロセスについて更なる理解を深める。

P393

(修得目標)

- ①事例に応じたケアマネジメントについて説明できる。
- ②ケアマネジメントプロセスごとの課題について説明できる。
- ③講評を受け、今後の自己課題の設定を実施できる。
- ④自己の課題に応じた解決策について説明できる。
- ⑤事例を基にサービス担当者会議、モニタリング場面等を模擬的に実施できる。

1

2

第1節 総合演習の目的

1 総合演習の目的

無断転載・複写を禁ずる

2 自立支援に役立つケアマネジメントの基本的視点の確認

- ①利用者の望む暮らしについて、自己決定ができるように支援を行うこと。
- ②自己決定を最大限に尊重するため、利用者がサービス提供者などに対して適切に発言できない場合などには、利用者の意向を代弁して、サービス利用の権利の擁護を行うこと。
- ③利用者の意欲を引き出すとともに、潜在能力、利用者の強み、できそうなことなどを見出し、それを最大限に発揮できるように支援を行うこと。
- ④介護保険法第2条2項の規定にあるように、利用者の要介護状態等の軽減又は悪化の防止に役立つような支援を行うこと。

3

演習のスケジュール概要

演習①	・宿題で実施してきた「初期相談面接に臨むための事前準備」についてグループ内で意見交換	10分
演習②	・課題分析項目に関する情報を基に、解決すべき課題を探るグループワーク ・課題整理総括表による検証するグループワーク ・発表(数グループ)	100分
演習③	・居宅サービス計画書を作成するグループワーク	60分
演習④	・サービス担当者会議の模擬説明、意見交換	40分
演習⑤	・モニタリング時の面接のために、事前に収集する情報に関するグループワーク	15分
演習⑥	・ケアマネジメントプロセスの自己評価、自己研鑽のあり方の整理、意見交換 ・発表(数グループ)	45分

無断転載・複写を禁ずる

第2節 演習プログラム

1 演習の進め方

○ブレイクアウトルームでの演習は、ファシリテーターの進行、指示に従ってください。

○質問等がある場合は、担当のファシリテーターにお尋ねください。

第2節 演習プログラム

2 初期相談面接に臨むための事前準備(演習①)

【演習シート1】P396

○テキスト398～411頁の事例概要は宿題になっていたの
で、事前に読み込んできていると思います。

○テキスト396頁の演習シートの「初期面接に臨むための準備」欄と「この事例のアセスメントに必要な知識」欄に記入することも宿題になっていたの
で、考えたことを記入してきていると思います。

○グループ内で意見交換して、情報を共有してください。

第2節 演習プログラム

3 解決すべき課題を探るための情報分析(演習②) (2) 解決すべき課題を探るための情報分析(演習②-A)

○テキスト398頁～429頁に、介護支援専門員が既に収集した情報を掲載しています。

- ・基本情報に関する項目、主治医意見書、退院・退所情報記録書、アセスメントに関する項目(課題分析項目の状態、原因、問題(困りごと)を整理したチェックポイントシート)

※事例を事前に読み込んでくることは宿題になっていました。

○これらの情報を基に、演習シート2を用いて情報分析をすることにより、解決すべき課題を導き出してください。

○グループワークをしながら演習シート2の空欄に考えられる内容を記入して、演習シートを完成させてください。

無断転載・複写を禁ずる

7

第2節 演習プログラム

3 解決すべき課題を探るための情報分析(演習②) (2) 解決すべき課題を探るための情報分析(演習②-A)

【演習シート2】P404～P405

無断転載・複写を禁ずる

○健康状態は生活機能にどのような影響を与えているか？
(個人ワーク5分 グループワーク8分)

○現状が続くことで予測されるリスクは何か？(防ぐべきこと)
(個人ワーク5分 グループワーク8分)

○状況を改善するための促進因子は何か？
(個人ワーク5分 グループワーク8分)

○生活全般の解決すべき課題(ニーズ)
(個人ワーク10分 グループワーク11分)

4

8

第2節 演習プログラム

3 解決すべき課題を探るための情報分析(演習②) (3)課題整理総括表による検証(演習②-B)

無断転載・複写を禁ずる

- 演習②-Aの情報整理・分析を基に、課題整理総括表により検証してみます。
- グループ内で討議しながら、網掛している「改善／維持の可能性※4」欄の該当する区分に○印をつけてください。
- 「見通し※5」欄に、何をどのように予測することができるのか記載してください。
- 上記により記載した内容を踏まえ、「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)」に抜け漏れがないか確認してみましょう。

第2節 演習プログラム

3 解決すべき課題を探るための情報分析(演習②) (3)課題整理総括表による検証(演習②-B)

無断転載・複写を禁ずる

【演習シート3】P406～P407

- 「改善／維持の可能性※4」「見通し※5」「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】」の作成
(グループワーク15分)
- 生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】の発表

第2節 演習プログラム

4 居宅サービス計画書の作成(演習③)

無断転載・複写を禁ずる

- 演習②で導き出された解決すべき課題を基に、居宅サービス計画書(1)(2)、週間サービス計画表を作成します。
- 演習②でグループで整理した内容を踏まえ、解決すべき課題の優先順位の高いものから、【演習シート4】居宅サービス計画書第2表の「解決すべき課題(ニーズ)」「目標」「援助内容」を記入してください。
- 時間の関係で、居宅サービス計画書第2表にすべての課題について記入作成できるとは限りませんので、「解決すべき課題(ニーズ)」「目標」「援助内容」の順に進めてください。

11

第2節 演習プログラム

4 居宅サービス計画書の作成(演習③)

(2)居宅サービス計画書の作成

無断転載・複写を禁ずる

【演習シート4】P410

- 居宅サービス計画書(2)の作成
(グループワーク35分)

【演習シート5】P411

- 週間サービス計画表の作成
(グループワーク10分)

昼食休憩の前に

無断転載・複写を禁ずる

次の「サービス担当者会議に関する演習」では、グループで作成したEさんの課題整理総括表や居宅サービス計画書(1)(2)を用いてロールプレイを実施します。

グループ内を2チームに分けます。配役は事務局できました。

※サービス担当者役で人数を調整する。

<Aチーム>

Eさん役 1名
Eさんの妻役 1名
介護支援専門員役 1名
サービス担当者役 2名

<Bチーム>

Eさん役 1名
Eさんの妻役 1名
介護支援専門員役 1名
サービス担当者役 2名

13

P412～P413

第2節 演習プログラム

5 サービス担当者会議に関する演習(演習④)

(1)グループ内でロールプレイを実施(タイムキーパー:ファシリテーター)
配役にしたがって、介護支援専門員役の司会で、開会の挨拶、参加者の紹介、利用者からの希望の表明、課題分析の概要説明、総合的な援助の方針、目標と援助内容の説明。質疑・意見交換、原案修正の必要性の有無の確認、サービス担当者への役割分担の確認、閉会の挨拶といった一般的な流れを想定する。

(Aチームロールプレイ15分※Bチームは見学者)

(Bチームロールプレイ15分※Aチームは見学者)

(2)振り返りと意見交換10分(進行:ファシリテーター)

ロールプレイを実施、見学して感じたことや気づいたことから、今後の自己課題を明確化する。

無断転載・複写を禁ずる

第2節 演習プログラム

6 モニタリングに関する演習(演習⑤)

○Eさんの居宅を訪問し、モニタリングの面接をする場合、事前にサービス提供事業者から収集しておいた方がよいと思われる情報項目について、グループ内で討議しながら必要な内容をあげてみてください。

○併せて、その情報を必要とする理由も考えてください。

【演習シート6】P414
(グループワーク15分)

無断転載・複写を禁ずる

第3節 ケアマネジメントプロセスの自己評価

1 総合演習の振り返り
これまでの演習を振り返って、ケアマネジメントプロセスの理解について不足しているものがないか自己評価してみましよう。

【演習シート7】P415
(個人ワーク10分)

2 課題解決に向けた取り組み
課題解決に向けてどのように取り組んでいくか話し合うことにより、今後の自己研鑽の道筋を整理しましょう。

【演習シート7】P416
(発表15分)

無断転載・複写を禁ずる